

STOP!! 研究不正

警・懲罰

学問の自由

<研究不正と見なされる行為>※

ねつ ぞう
捏造

存在しないデータ、
研究結果等を作成すること。

改ざん

研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、
データ、研究活動によって得られた結果等を
真正でないものに加工すること。

盗用

他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、
研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解又は
適切な表示なく流用すること。

 **授業等の課題レポートも研究活動の入り口です！**

※文部科学省が定める「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」において、
捏造、改ざん、盗用は、研究活動における代表的な不正行為として挙げられています。



慶應義塾

今なぜ、「責任ある研究活動」なのか？

科学は、信頼を基盤として成り立っています。科学者はお互いの研究について「注意深くデータを集め、適切な解析及び統計手法を使い、その結果を正しく報告」しているものと信じています。また、社会の人たちは「科学研究によって得られた結果は研究者の誠実で正しい考察によるもの」と信じています。もし、こうした信頼が薄れたり失われたりすれば、科学そのものがよって立つ基盤が崩れることとなります。

しかし、残念なことに、データ捏造・改ざんなどの研究不正行為や研究費の不正使用が生じており、報道でも取り上げられています。このままでは、科学に対する信頼が揺らぎかねません。

このような背景から、研究不正に対する社会からの目も厳しさを増しており、社会における科学という観点からも、責任ある研究の推進に向けて従来以上に真摯に取り組んでいくことが求められています。

キーワード

実験ノート

実験系では、一般に、データは実験ノート（ラボノート）に記録されます。適切な形でデータやアイデアが管理された実験ノートは、研究の証拠や、知識管理の道具として重要な役割を果たすことは言うまでもありません。

偽りのない適切な実験ノート⇒ 正式な報告書、論文、発表への道しるべに！！

オーサーシップ

論文の著者として表示されることがオーサーシップ(authorship)です。オーサーシップには、著者がその研究には誤りや虚偽がないことを保証する義務と責任を伴います。

出典

他人の研究成果を利用するためには、出典を明示し、読者がその出典を確認できるようにしなければなりません。出典を示すことなく、他人の研究成果を利用することは**盗用**にあたります。

その他の研究不正・・・

▶オーサーシップの偽り

著者としての資格がないにもかかわらず、真の著者から好意的に付与されるギフト・オーサーシップ(=業績の水増し)や、反対に、著者としての資格がありながら意図的に著者としてクレジットされないゴースト・オーサーシップがあります。

▶二重投稿

二重投稿とは、著者自身によってすでに公表されていることを開示することなく、同一の情報を投稿し、発表することです。

【参考】

日本学術振興会『科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得—』
<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf> (2015年6月15日)

【問い合わせ先】

慶應義塾 学術研究支援部公的資金担当 koteki_staff@adst.keio.ac.jp